

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成24年7月12日 (2012.7.12)

【公表番号】特表2009-536711(P2009-536711A)

【公表日】平成21年10月15日 (2009.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-041

【出願番号】特願2009-510050(P2009-510050)

【国際特許分類】

F 0 3 C 2/08 (2006.01)

F 1 6 D 55/40 (2006.01)

F 0 3 C 1/26 (2006.01)

【F I】

F 0 3 C 2/08 B

F 1 6 D 55/40 A

F 0 3 C 1/26

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年5月22日 (2012.5.22)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

油圧装置であって、

中央開口と流体流入通路と流体流出通路とを有するハウジングであって、前記流体流入通路と流体連通する加圧可能なブレーキチャンバーを少なくとも部分的に画定するハウジングと、

前記中央開口に受け入れられ前記ハウジングから伸びる出力シャフトであって、前記加圧可能なブレーキチャンバーと連通する流体通路を含む出力シャフトと、

ステータ及び流体ポケットを画定する歯と協働するロータを備えるロータアセンブリであって、前記ロータは油圧流体が流体ポケットの方へ導かれたときに前記ステータに対して回転及び旋回し、前記流体ポケットは前記流体流入通路及び前記流体流出通路と連通している、ロータアセンブリと、

前記ロータ及び前記出力シャフトに連結され、前記ロータの回転及び旋回に基づいて前記出力シャフトを回転する揺動シャフトと、

前記出力シャフトに連結された第 1 のブレーキディスクと、前記ハウジングに連結された第 2 のブレーキディスクと、前記第 1 及び第 2 のブレーキディスクの少なくとも一つに接触するピストンと、前記出力シャフトをブレーキする作動状態に前記ピストンを押圧する付勢手段とを含むブレーキアセンブリと、を備え、

加圧された流体は前記出力シャフトの前記流体通路を通じて前記ブレーキチャンバーに流れ、従って、前記ブレーキアセンブリを解除する、油圧装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の油圧装置において、

前記第 1 のブレーキディスクは、前記油圧装置によって駆動される部材と連結されるようになっている前記出力シャフトの外側端部分と隣接して前記出力シャフトに連結されていることを特徴とする油圧装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の油圧装置において、

前記出力シャフトは、互いに相互連結しない複数の小さなくぼみから成るぎざぎざのついた外面を含むことを特徴とする油圧装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の油圧装置において、

前記流体流入通路と、前記ロータアッセンブリの前記流体ポケットの少なくとも一つとの間の流体通路に配置されたバルブを更に備えることを特徴とする油圧装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の油圧装置において、

前記バルブは、一方方向の流れをチェックすることを特徴とする油圧装置。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の油圧装置において、

前記ハウジングと前記ピストンは、付勢部材チャンバーを少なくとも部分的に画定し、前記付勢部材は、前記付勢部材チャンバーの中に配置され、前記付勢部材チャンバーは、前記流体流出通路と流体連通することを特徴とする油圧装置。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の油圧装置において、

前記ブレーキディスクは、前記加圧可能なブレーキチャンバーに配置されていることを特徴とする油圧装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0003

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0003】

周知の前述のアッセンブリと比較して、油圧装置は、油圧モータと、コンパクトなハウジングアッセンブリ及び少数の複雑な流体通路を有する前述の欠点を克服するブレーキアッセンブリを含む。油圧装置の一実施例は、ハウジング、出力シャフト、ロータアッセンブリ、揺動シャフト及びブレーキアッセンブリを含む。ハウジングは、中央開口と流体流入通路と流体流出通路とを有する。ハウジングは、流体流入通路と流体連通する加圧可能なブレーキチャンバーを少なくとも部分的に画定する。出力シャフトは、ハウジングの中央開口に受け入れられハウジングから伸びる。ロータアッセンブリは、ステータ及び流体ポケットを画定する歯と協働するロータを備える。ロータは油圧流体が流体ポケットの方へ導かれたときにステータに対して回転及び旋回する。流体ポケットは流体流入通路及び流体流出通路と連通する。揺動シャフトは、ロータ及び出力シャフトに連結され、ロータの回転移動及び軌道移動に基づいて出力シャフトを回転する。ブレーキアッセンブリは、第 1 のブレーキディスクと、第 2 のブレーキディスクと、ピストンと、付勢手段とを含む。第 1 のブレーキディスクは、出力シャフトに連結される。第 2 のブレーキディスクは、ハウジングに連結される。ピストンは、第 1 及び第 2 のブレーキディスクの少なくとも一つに接触する。付勢手段は、出力シャフトをブレーキする作動状態にピストンを押圧する。出力シャフトは、ぎざぎざのついた外面を含むことができる。